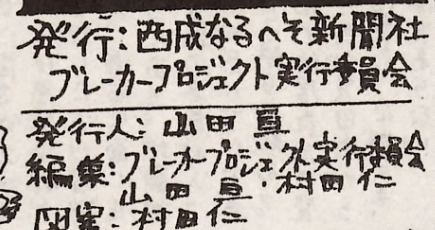


心は二重だ

の家々やそこに住む人々の記憶が入れ子の様に混在するリアルな都市の姿をこの新聞は体現すると、同紙編集長山田亘氏は語る。同社は一般参加の記者を公募中。参加する記者達の取材の過程そのものが人から人への歴史の橋渡しともなっていく。

この街に住む人々の生きて来た記憶が気づかない内に消えていってしまふ前に、出来るだけ多くの方々から「暮らしの体験談」を聞き出していただきたいと同社広報の村田仁氏は語る。時空間を費く街の移り変わりの姿を一緒に作っていく「なるへそ記者」には報道腕章とメモ等が支給される。年間を通しての参加から、数回や一回限りでの参加も可能だ。



なるへそ新聞社(大阪市西成区)はこのほど直営の新聞配布設備「なるへそ新聞ボックス」を設置する。山王及び

持た爆走車が出来る。

一人遊びが大好きで、四才から發明に目覺めた梅田哲也氏（33）。西成区での活動は、二〇一年の新・福寿荘の展覽會が始まりである。現在來年膨らむ

よろず
さかえ

太子一丁目の西村少年は、近頃の楽しみの一つは、近所の公園で毎日の様に催される紙芝居だ。黄金バットや鞍馬太狗などを見たあとに、力カツにも電氣賣にも出来たはずの五円で型々キに挑戦するも吉戦の後、藤枝梅安はリウの針を使つた必殺技で成功率も上々だ。もう一丁目の楽しみは、西村少年達の甲子園とも

だ。野口くんはソフトボールの腕前もずばらしいのだが、仲間のために美しい白球も提供してくれている。皆は汗を待とはしらせて魂を躍動させ球を追つてゐるのだ。しかし連日の酷使に耐えきれず、少しずつ柔らくなり、真のソフトボールとなつてしまった白球は、またまた引退させてもらえそうにない。

萬盛湯二代目、前田
義さん（兄）は、お公
んが体調を悪くされ
から、お母さん、お
さんを助ける為、累
墓地での友人達との
好きはソフトボー
ル時間を番台に座る時
に当てる家族想いの

の正月には、新世界「新花
月」の舞台にも立っている。
近くに住む高校生の角田昇
さん（17）によると、人出は
年々増えており、今年は特
に若い女性連れも多々見
れるという。屋台も数多く
並び、祭としての雰囲気
盛り上げ、堀といった遠古

全酒類 食品販売

BRANDY

BRANDY

BRANDY

BRANDY

柳本商店

山王1丁目12番4号

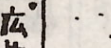
終えて休眠となる。冬
 の虫は地下に入りて冬
 眠となる。

本葉生る

福



メンズ'ショップ。
スミタ
板元茶屋本通商店街


 末山
 山王 2-4-10

Rioku ⑨ 手芸會館
 十人す
 お家のタンスに眠っている
 編み物を讀って下さい。
 山王 1-11.5 (元・鈴木タンス店)

大阪市現代芸術創造事業
ex・pots 2011-2013

Breaker Project

山王・飛田・太子・新世界
地域密着型アートプロジェクト

<http://breakerproject.net>